

金融

生活設計と資金計画

理想的な家計予測法

実践しよう！

ファイナンシャルプラン

ライフイベント表から マネープランを作成

未来の家計を予測する上で欠かせないのが「ファイナンシャルプラン」といわれるものです。そのファイナンシャルプランの基礎となっているのがライフイベント。つまり、子どもの進学や教育、マイホームの購入などが考えられます。ライフイベントを考え予測し、どれだけ資金が必要になるのか、あるいは老後はどうすればいいのかなどの道標となるファイナンシャルプランについて、今回は特集しました。



今や欠かせない ファイナンシャルプラン作り

「とりあえず貯蓄はしているけれど将来が不安」「うちの家計はこのままで大丈夫かしら？」などという声がよく聞かれます。こうした将来への不安を持っている人にお勧めしたいのが、ファイナンシャルプランの作成です。実際に未来の家計をシミュレーションしてみたら、自分や家族の夢や希望を実現させるためにも、ファイナンシャルプラン作りは欠かせないのです。ファイナンシャルプランを作る上で、その基礎となるのがライフイベントです。

ファイナンシャルプランとは、それぞれの家庭の夢や希望をまとめた計画表（ライフイベント表）に基づいて、未来の収支状況や貯蓄残高などをシミュレーションし、資金計画を立てるものです。簡単に言えば、人生の設計図といってもいいでしょう。

シングルやDINKSなどのライフスタ

プランの基礎はライフイベント とマネープラン

将来の家計の赤信号を予測し、そのための対策を早目に立てておくことこそ、ファイナンシャルプランの最大のメリットといわれています。自分や家族の夢や希望を実現させるためにも、ファイナンシャルプラン作りは欠かせないのです。

ファイナンシャルプランを作る上で、その基礎となるのがライフイベントです。ライフイベントとは、例えば今年4月に結婚した夫婦がいたとします。その夫婦に子どもができたら子どもの進学やマイホーム（持っている人の場合）購入などいくつかの予定できるイベントが生まれてきます。特に決まった書式はありませんが、下の表のように自分や家族の年齢の推移を書いて、子どもの進学やマイホーム購入、旅行、退職など、自分の家族に起きる（起こしたい）イベントを該当年齢のところに記入していけばOKです。

できれば40歳以下の人たちは30年後ぐらいまで書いてみてください。はっきりしない部分は願望でもいいです。逆に、ある程度詳しいことが予測できる数年後のイベントについては、細かく書き出しておきます。

子どもがいる家庭なら、その成長に合わせて考えていくと分かりやすいですね。進学予定を中心に、習い事や塾などを考えているプランがあれば、それも含めてできるだけ具体的に書いていきます。将来子どもがほしいと考えている場合は、その時期に子どもが生まれたと仮定しておきましょう。そして、最後に「人生の三大資金」といわれる住宅・教育・老後の費用の目安などを参考にしながら、各イベントに必要な資金額を書き込んでいけば完成です。

熊本市城南町に住む34歳の主婦は「信用金庫に勤務する友人にアドバイスをもらい、シミュレーション（計画や希望の予想）していますが、非常に参考になります。パソコンで簡単にできますし、便利です」と話していました。

ライフイベント表を作ってみると、何年後に、いくらぐらいの資金が必要かが分かり、そのための貯蓄目標も立てやすくなります。これがマネープランの一つです。なお、家族がいる場合は、将来やりたいことを話し合ったり作成することが大切です。独りよがりな計画では家族の協力は得られませんし、皆で話し合うこととお互いの考えも分かり、計画もより具体的なものになるはずですよ。

ファイナンシャルプランの基礎となるライフイベントを含めたライフプラン、そしてマネープランも含めてファイナンシャルプランを作成しましょう。先ほどコメントした女性のように金融機関や、あるいはパソコン上で金融庁などがアップしている無料のシミュレーションソフトがありますので、それらを活用するのもいいでしょう。まだ、作成したことがない人、もしくは見直しをしたい人もぜひシミュレーションし、実行に移してください。

ライフイベント表の例
(マネープランも一部組み入れる)

西暦	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
夫の年齢	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
妻の年齢	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
子どもの年齢	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
家族のイベント (予算：万円)		小学校入学 (20)	家を購入 (頭金800)					中学校入学 (20)			高校入学 (100)
やりたいこと (予算：万円)	旅行 (20)			車の買換え (200)					車の買換え (200)	学習塾 (50)	旅行 (20)



コラム
県内金融
ニュース

エコカー専用 自動車ローンの 統一商品を発売中

～熊本県内の4信用金庫～



熊本県内の4信用金庫は現在、熊本県信用金庫統一商品「カーライフプラン・エコ」を発売しています。

これは2010年9月に熊本県内の4信用金庫が協働で「第1回しんきん個別商談会」Nくまもと」を開催。今回は協働化事業の第2弾として発売している統一商品で、環境にやさしいといわれるエコカー専用（中古も含む）の自動車ローン商品。取扱期間は今年の9月30日まで。資金使途は電気自動車、ハイブリッド自動車、電動バイク、2009年度排出ガス規制に適合しているディーゼル自動車、低排出ガス車認定制度（2005年度基準値）により、低排出ガス車認定75%低減レベル、または同50%低減レベルを受けている家用自動車となっております。対象者は申込時の年齢が満20歳以上で安定継続した収入がある人（パート・アルバイトは不可）。融資金額は500万円以内（1万円単位）、融資期間は8年以内（1カ月単位）。融資利率は各信用金庫が定める利率です。

商品を開発した協働化推進委員会は「商品企画については委員会が行い、効率化を図りました。熊本県限定の商品で、エコカーの新車のみならず中古車購入や、電動バイク購入にも対応しているのが特徴です」と話している。詳しくは熊本信用金庫、熊本第一信用金庫、熊本中央信用金庫、天草信用金庫の窓口まで。